

## 職業実践専門課程の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地				
麻生外語観光&製菓専門学校	平成3年1月8日	竹口 伸一郎	〒812-0016 福岡市博多区博多駅南1-14-17 (電話) 092-415-2288				
設置者名	設立認可年月日	代表者名	所在地				
学校法人 麻生塾	昭和26年3月12日	理事長 麻生 健	〒820-0018 福岡県飯塚市芳雄町3-38 (電話) 0948-25-5999				
目的	多様化する観光業界で必要とされる専門知識、専門資格、技能を備え、実社会で通用する人材の育成を目標とする。						
分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
商業実務	商業実務 専門課程	トラベル科	平成22年文部科学 省告示第31号				
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	1764	1545	480	168	0	0
単位時間							
生徒総定員	生徒実員	専任教員数	兼任教員数	総教員数			
80人	60人	2人	16人	18人			
学期制度	■前期:4月1日～8月31日 ■後期:9月1日～3月31日		成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 学期末試験、出席状況、授業態度 確認テスト等の総合評価			
長期休み	■夏季:8月8日～9月11日 ■冬季:12月24日～1月10日 ■学年末:3月14日～4月3日		卒業・進級条件	ア. 指定科目全ての修得 イ. 各学年の出席率90%以上 ウ. 卒業基準検定の取得 エ. 学生としてふさわしい生活態度			
生徒指導	■クラス担任制: 有 ■長期欠席者への指導等の対応 欠席届と理由書 (医師の診断書等)提出		課外活動	■課外活動の種類 ボランティア活動 ■サークル活動: 有			
就職等の状況	■主な就職先、業界等 航空、鉄道、船舶、旅行、ホテル等 ■就職率 <sup>※1</sup> : 94.4% ■卒業者に占める就職者の割合 <sup>※2</sup> : 89.5% ■その他 (平成28年度卒業者に関する 平成29年4月1日時点の情報)		主な資格・検定等	国内旅行業務取扱管理者 総合旅行業務取扱管理者 国内旅程管理主任者 AMADEUS検定 Word検定 Excel検定			
中途退学の現状	■中途退学者 1名 ■中退率 4.6% 平成28年4月1日時点において 在学者 78名 (平成28年4月1日 入学者を含む) 平成29年3月31日時点において 在学者 77名 (平成29年3月31日 卒業者をを含む) ■中途退学の主な理由 進路変更による退学、経済的理由による学業継続困難等 ■中退防止のための取組 担任による定期ガイダンスや三者面談の実施、定期的な状況報告等						
ホームページ	URL: <a href="http://www.asojuku.ac.jp/aftc/">http://www.asojuku.ac.jp/aftc/</a>						

1. 「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

企業連携により、実践的かつ専門的な職業教育を実践することで人材養成課程の質の保証・向上を基本方針とする。授業科目開設においては、卒業生に対する「お客様アンケート」結果による企業視点を軸とし、旅行、鉄道業界において必要とされる知識・技術の修得を目指す。実践の機会として設定する企業インターンシップでは、職業像と必要適性を明確にし、各自の具体的なキャリアプランを構築するための取り組みとする。また実務を経験し、適切な指導・評価を受けることで学内での学習との相乗効果を図る。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

専攻分野における市場動向や地域産業振興の方向性等に関する意見交換等を通じて、より実践的な職業教育の質を確保することを目的とする。この際の委員会審議の内容をカリキュラム会議で報告し授業科目の改善や新規開設に反映させる。これにより専攻分野で必要とされる知識・技能の修得を可能とする質の高い教育の提供を目指す。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

平成29年5月1日現在

名前	所属	任期	種別
松坂 寛則	九州マレーシア協会 事務局長	H29/4/1～H30/3/31	①
山方 浩	公益財団法人 福岡観光コンベンションビューロー 事務局長	H29/4/1～H30/3/31	①
木村 弘	株式会社トップスタッフ九州支店 主任	H29/4/1～H30/3/31	③
樋口 耕平	株式会社JTB九州 企画総務部	H29/4/1～H30/3/31	③
三笥 秀一郎	麻生外語観光&製菓専門学校 副主任	H29/4/1～H30/3/31	
若松 昌枝	麻生外語観光&製菓専門学校 トラベル科 専任教員	H29/4/1～H30/3/31	

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(開催日時)

平成28年度 第1回 平成28年6月23日 16:30～17:30  
 平成28年度 第2回 平成28年10月20日 15:30～17:30  
 平成29年度 第1回 平成29年6月21日 16:30～17:30  
 平成29年度 第2回 平成29年10月18日 15:30～17:30

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

旅行業界における人材像に関する意見として業界で働くレベルの地理知識の必要性を受け、2年次に地理の再学習させる観光資源をテーマとしたカリキュラムの追加。また業務上で必要となる英会話や、英文のItinerary、現地ランドオペレーターからの資料の読み取りなど、語学力(英語力)向上のための科目もカリキュラムに反映。あわせて今後は緊急時の対応知識や救急救命の知識を身につけさせるような科目も組み込んで行く予定。以上のことにより、より即戦力となる人材の育成に努める。

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

企業連携の下、専攻分野における実務に関する知識、技術および技能を教授し、就職に必要な実践的、かつ専門的な能力を育成することを基本方針とする。その内容については、旅行・鉄道業界において即戦力となり得る人材育成のための、より実践的な職業教育の質の確保を目的とし、企業との密接な連携による最新の実務を的確に反映した教育を提供する。

(2)実習・演習等における企業等との連携内容

実践的な科目(旅行商品分析授業、添乗員の実務授業)において企業側講師による授業を実施。1年次に2週間の業界実習を経験し、現場で必要なスキルと知識・実務を学習する。実習後に報告会を行い、成果を共有することで、業界の全体像把握や就職活動に活用する。

(3)具体的な連携の例

科目名	科目概要	連携企業等
海外商品分析	海外旅行企画商品、旅行パンフレットの内容を分析し、商品造成や販売上の実践力に繋げ、業界就職の際に現場で活かす。	株式会社トップスタッフ
国内商品分析	国内旅行企画商品、旅行パンフレットの内容を分析し、商品造成や販売上の実践力に繋げ、業界就職の際に現場で活かす。	株式会社トップスタッフ

3.「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1)推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

業界就職に求められる人材像を分析し、カリキュラムやシラバスに反映させ、さらに即戦力となる人材の育成を図るため、「教職員研修規定」に則り、教職員の能力及び資質等の向上を目的とした研修を継続的に実施することを基本方針とする。定期的な企業からのヒアリングや旅行会社、関連企業の企業説明会に参加し情報収集することにより、旅行、鉄道業界の現状を常に把握し企業視点を軸とした教育サービスの提供を目指す

(2)研修等の実績

①専攻分野における実務に関する研修等

- ・JTB総合研究所意見交換会
- ・JTB総合研究所新学期研究会

②指導力の修得・向上のための研修等

- ・インストラクショナルデザイン研修
- ・インプレッショントレーニング

(3)研修等の計画

①専攻分野における実務に関する研修等

- ・JTB総合研究所意見交換会
- ・JTB総合研究所新学期研究会
- ・観光九州アカデミア研究会

②指導力の修得・向上のための研修等

- ・アクティブラーニング研修
- ・メンタルヘルス研修

4.「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1)学校関係者評価の基本方針

本校の基本方針に基づき、学校運営が適正におこなわれているかを企業関係者、保護者、地域住民、高校関係者等の参画を得て、包括的・客観的に判定することで、学校運営の課題・改善点・方策を見出し、学校として組織的・継続的な改善を図る。また、情報を公表することにより、開かれた学校づくりをおこなう。

(2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1)教育理念・目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育理念(建学の精神)・目的・目標、育成人材像を明文化しているか</li> <li>・上記において職業教育機関として専修学校教育に必要とされる考え方や指針、内容などを盛り込んでいるか</li> </ul>
(2)学校運営	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校の管理・運営体制が確立しているかどうか</li> </ul>
(3)教育活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>各学科の教育目標、育成人材像に向け</li> <li>・カリキュラムの作成などの取り組みをしているか</li> <li>・教授学習プロセスの改善への取り組みをしているか</li> <li>・業界ニーズに対応した付加的教育の取り組みをしているか</li> <li>・教員の資質維持や向上に向けた取り組みをしているか</li> </ul>

(4)学修成果	・各学科の教育目標、育成人材に向けてその達成への取り組みと評価がされているか
(5)学生支援	・各学科の教育目標、育成人材像に向けて入学前から卒業後まで学生支援が整備され組織的に行われているか(在学時)(卒業後) ・上記以外を通じての学生支援
(6)教育環境	・各学科の教育目標、育成人材に向けて教育環境が整備・活用されているか
(7)学生の受入れ募集	・各学科の教育目標、育成人材像に向けて入学前から卒業後まで学生支援が整備され組織的に行われているか(入学前)
(8)財務	・中長期的に学校の財務基盤は安定しているか ・予算収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか ・資産管理は適切におこなわれているか ・会計監査が適切におこなわれているか ・財務情報の公開の体制はできているか
(9)法令等の遵守	・各学科の教育目標、育成人材像に向けて自己点検・評価活動の実施体制が確立して改革・改善のためのシステム構築がされているか
(10)社会貢献・地域貢献	・意図的・計画的・組織的に社会活動への取り組みが推進されているか
(11)国際交流	

※(10)及び(11)については任意記載。

### (3)学校関係者評価結果の活用状況

カリキュラム策定においては、企業等の外部関係者との連携を更に充実させるため、連携企業の選定も含め体制強化を今後も引き続き実施していくこととした。また、他の高等教育機関との連携を推進する等の改善を行っていくこととした。

### (4)学校関係者評価委員会の全委員の名簿

平成29年5月1日現在

名前	所属	任期	種別
村山 聖子	平成28年度入学ブライダル・ウエディング科2年生 保護者	H28/4/1～H30/3/31	保護者
堀部 豊和	平成23年度 卒業生	H28/4/1～H30/3/31	卒業生
高島 妙美	平成21年度 卒業生	H29/4/1～H31/3/31	卒業生
浦川 美代子	博多駅南1丁目1区 自治会長	H28/4/1～H30/3/31	自治会長
甲斐 直樹	福岡県立直方高等学校	H28/4/1～H30/3/31	校長
増田 義孝	航空貨物研修センター 代表	H28/4/1～H30/3/31	団体
山方 浩	公益財団法人 福岡観光コンベンションビューロー 事務局長	H28/4/1～H30/3/31	団体
松坂 寛則	九州マレーシア協会 事務局長	H28/4/1～H30/3/31	団体
加藤 博志	九州B.M.C.会長	H28/4/1～H30/3/31	団体
鶴田 武彦	福岡県洋菓子協会 専務理事・事務局長	H28/4/1～H30/3/31	団体
長 加奈子	福岡大学 准教授	H28/4/1～H30/3/31	教育機関
松永 陽子	ANA福岡空港株式会社 旅客サービス部 旅客サービス課マネージャー	H28/4/1～H30/3/31	企業
荻原 将章	ANA福岡空港株式会社 グランドサービス部 ラインハンドリング課3課 マネージャー	H28/4/1～H30/3/31	企業
小林 俊裕	日本通運株式会社 福岡支店九州 グローバルロジスティクス企画 次長	H29/4/1～H31/3/31	企業
木村 弘	トップスタッフ株式会社 九州支店 主任	H28/4/1～H30/3/31	企業
金 大義	株式会社韓進インターナショナルジャパン 福岡空港事業部 事業部長	H28/4/1～H30/3/31	企業
森山 光	株式会社アルク教育社 福岡支店 支店長	H28/4/1～H30/3/31	企業
能城 めぐみ	ヒルトン福岡シーホーク 人事部 次長一人材開発担当	H28/4/1～H30/3/31	企業

大屋 寿	株式会社ニューオータニ九州 執行役員人事総務部長	H28/4/1～H30/3/31	企業
古賀 三和子	株式会社アルカディア 人事課長	H28/4/1～H30/3/31	企業
柳原 久一郎	株式会社ブライトウェイ	H28/4/1～H30/3/31	企業
藤田 敦子	ロイヤルホールディング株式会社 人事課長	H29/4/1～H31/3/31	企業
安藤 大介	高見株式会社 九州営業部 部長	H29/4/1～H31/3/31	企業
樋口 耕平	株式会社JTB九州 企画総務部	H28/4/1～H30/3/31	企業

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例)企業等委員、PTA、卒業生、校長等

(5)学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

公表方法: ホームページ URL: <http://www.asojuku.ac.jp/disclosure/>

公表時期: 8月

5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

本校の教育方針・カリキュラム・就職指導状況など学校運営に関して、企業等や高校関係者・保護者などに広く情報を提供することで、学校運営の透明性を図るとともに、本校に対する理解を深めていただくことを目的とする。

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1)学校の概要、目標及び計画	学校概要、校訓、沿革、所在地、連絡先、魅力、麻生塾の取組
(2)各学科等の教育	定員、カリキュラム、時間割、取得可能な資格、国家試験・検定実績、内定実績
(3)教職員	教員一覧
(4)キャリア教育・実践的職業教育	就職サポート
(5)様々な教育活動・教育環境	年間行事、部活動・サークル活動
(6)学生の生活支援	学生寮、海外交流センター、プラスα制度
(7)学生納付金・修学支援	学費について、特待生制度、学費分割納入制度、兄弟姉妹・親子入学奨学金、日本学生支援機構奨学金制度
(8)学校の財務	財務情報
(9)学校評価	自己点検・評価報告書、学校関係者評価委員会評価報告書
(10)国際連携の状況	海外教育機関との連携、海外提携校、出願資格、出願書類、選考方法、入学手続き、校納金特別免除制度
(11)その他	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)情報提供方法

URL: <http://www.asojuku.ac.jp/> (麻生塾ホームページ)

<http://www.asojuku.ac.jp/aftc/> (麻生外語観光&製菓専門学校ホームページ)

授業科目等の概要

(商業実務専門課程トラベル科) 平成29年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			旅行業法	国家試験科目である、旅行業における法律など専門科目を学び、国家試験合格を目指す。	1前	30	2	○			○	○			
○			旅行業約款・各種約款	国家試験科目である、旅行業と旅行者の取消料や責任範囲など専門科目を学び、国家試験合格を目指す。	1前	60	4	○			○	○			
○			国内地理対策	国家試験科目であり、観光地・お土産・名物料理など専門科目を学び、国家試験合格を目指す。	1前	30	2	○			○	○			
○			国内運賃料金	国家試験科目である、JR・航空・バス・フェリー・宿泊などの運賃/料金計算や払い戻しなど専門科目を学び国家試験合格を目指す。	1前	60	4	○			○		○		
○			国際航空運賃I	国家試験科目である、国際航空運賃の計算方法や、タリフの見方など専門科目を学び、国家試験合格を目指す。	1前	30	2	○			○	○			
○			出入国実務I	国家試験科目である、旅券の申請・受領や検疫、免税品など専門科目を学び、国家試験合格を目指す。	1前	30	2	○			○	○			
○			海外実務I	国家試験科目である、OAG時刻表・トーマスクック時刻表の見方や、時差計算など専門科目を学び、国家試験合格を目指す。	1前	30	2	○			○	○			
○			海外地理対策I	国家試験科目である、首都や観光地など専門科目を学び、国家試験合格を目指す。	1前	30	2	○			○		○		
○			総合旅行業取扱管理者対策I	国家試験対策として、国際航空運賃、出入国実務、海外実務、海外観光資源の再学習を行い資格取得を目指す。	1後	30	2	○			○	○			
○			観光概論	学科が目指すべき業界の業務内容・職種・企業の研究を行い、自身の就職活動の方向性を認識させ、次年度の就職活動に活かす。	1後	15	1	○			○	○			
○			観光演習	時刻表（JR・航空）などを活用し、お客様に対して的確な情報伝達手段を取得し、地図を活用した基礎的なプランニングについて学ぶ。	1後	15	1	△	○		○			○	







○	ビジネス文書※B	仕事上で必要なビジネス文書の基礎を学び、ビジネス文書検定の取得を目指す。※Aの5科目又は※Bの5科目のいずれかを選択。	2前	30	2	○			○			○	
○	手話入門※B	基本的な手話を習得し、聴覚障害者とのコミュニケーションが図れるようになる。※Aの5科目又は※Bの5科目のいずれかを選択。	2前	30	2	○			○			○	
○	インターネット旅行情報検索※B	インターネットの基礎知識を学び、旅行情報を収集、整理、資料作成の技術を習得する。※Aの5科目又は※Bの5科目のいずれかを選択。	2後	30	2	○	△		○			○	
○	グリーンツーリズム概論※B	グリーンツーリズムを中心にエコツアー、産業観光など、様々な旅行形態の概要を知る。※Aの5科目又は※Bの5科目のいずれかを選択。	2前	30	2	○			○			○	
○	セールス実務※B	営業職に限らず、旅行業でのカウンターや広く接客業での最低限の知識を身につけ、社会に役立つスキルを身につける。※Aの5科目又は※Bの5科目のいずれかを選択。	2後	30	2	○	△		○			○	
○	一般教養ⅡA	国語・数学・社会(時事)・英語を総合的に学習し、入社試験において一般常識試験に対応できる応用力を養成。	2前	30	2	○			○			○	
○	一般教養ⅡB	国語・数学・社会(時事)・英語を総合的に学習し、入社後において必要な一般知識の学習。	2後	15	1	○			○			○	
○	ビジネス実務Ⅱ	ビジネス実務検定(ジョブパス)対策を通して、現場で活用できるビジネススキルを身につける。	2前	30	2	○			○			○	
○	社会教養ⅡA	履歴書の作成、企業研究、面接対策、就職活動の基本を理解する。また、企業の採用動向、求められる人材、自己分析の仕方などを理解し、就職に繋げる。	2前	30	2	○			○			○	
○	社会教養ⅡB	履歴書の作成、企業研究、面接対策、就職活動の基本を理解する。また、企業の採用動向、求められる人材、自己分析の仕方などを理解し、就職に繋げる。	2後	30	2	○			○			○	
○	サービス介助	高齢者の方々、お体の不自由な方々に対するサービスにおいて、ケアの基本的動作を勉強し、社会に役立つサービススキルを学ぶ。	2後	30	2	△	○		○			○	
○	ソーシャルスタディ	健康維持、体力向上を図ることを目的に、スポーツを取り入れることで、気分の充実を図る。文化教養に触れることで知識の習得と社会的視野を広げることを目的とする。	2後	30	2	△	○				○	○	
○	業界ビジネス英語A	添乗業務や予約業務等の旅行業界で業務をしていく様々な場面を想定し、必要な英語知識を学習。	2前	30	2	○			○			○	

